

豆

何れも北海道産最優良品で御座います
 平紺屋町十三番地

大豆各種
 赤豆
 小豆
 黒豆
 補ふり豆
 青エンド
 紅豆
 金時豆
 白丸うづら
 長丸うづら
 丸うづら

御電話にて御注文
 下されば多少に不
 拘迅速に御届け申
 上げます何卒御
 用命の程願上ます

田巻商店
 電話九〇八番

寒さの御用意 御用品の廉賣

日に増し寒くなつて参りました。
 寒さの御用意は「緊縮時代」に相應
 しい「御用品」と決りました。弊店
 は「金解禁」を前に安値のどん底を
 仕入れ、皆様に買つて戴く事にし
 ました。どうぞ一度御覧下さい、
 そして御撰擇を願ひます。

▼御祝儀物一式▼七五三祝着品
 ▼タタシ類▼着尺モスリン▼友
 仙モスリン▼ナフトール着尺新
 柄▼ニコ〜新柄

平町三丁目
 亀田屋呉服店
 電話七五番

耳鼻咽喉科専門

場所（舊診療所裏通り）

合津醫院

平町仲田町（電話五五九）

セメント
 壁用材料
 コールタール
 ペンキ塗料
 板ガラス

磐城セメント株式會社
 代理店 西村屋藥舖
 平町二丁目（電三）

平町 西村屋藥舖

來マシタ!!

子供洋服が

二圓五十錢

三圓 ソノ他

平町四丁目

ツルヤ
 電話一四〇

例年の通り

- ▼新年エハガキ
- ▼文字ハガキ
- ▼カレンダー
- ▼カルタ、トランプ

▼當用日記
 懷中日記

マルトモ 柴田書店
 平町四丁目
 電話二三四番
 九〇五番

時計 常盤屋
 指輪 常盤屋
 電話三三九

キングパスト

理想的耐水耐熱接合劑
 ◎水か微温湯で溶せばすぐ
 使へる簡単な膠着劑
 一名コナニカワ
 ◎四季を通じて一度ついたら
 膠着力は絶對的です
 ◎理想的完全耐水耐熱の可
 驚威力を發揮し防腐の効
 果著し

小野屋藥店
 電話一四四番

公債政策に就て

代議士 山下 谷次

歐洲戰爭前には我國の公債の
 總額は二十億圓であつた
 が、その時には國庫の經常
 歳入は四億二千圓に過ぎな
 かつたので經常歳入に對し
 て公債の總額は實に六倍で
 あつた、然るに昭和三年末
 の公債の總額は五十八億圓
 になつて居るので此の數字
 だけを見ればその膨脹に驚
 くであらうが、國庫の經常
 歳入はどうかと言へば、昭



使用した其の目からス
 グキク婦人病自宅療治
 藥、美神丸を未だシラ
 ナイ御方がありますか
 永らく子宮病にて百藥
 の効なく御困りの方、
 處女にてもコシケに惱
 む方は安全にて八に知らるゝ心配もなく治療の目的を
 達します 定價一週四分四十錢 十週四分參圓五十錢
 平町古鍛冶町（縣社ノ下）
 一 手 販 賣 部
 阿康藥店
 無代進呈の方法もあります
 （電話四四番）

貸切自動車の御用命は 高級車で乘心地の好い 昭和タクシーへ

電話は 三四三番
 平驛前

永遠の心

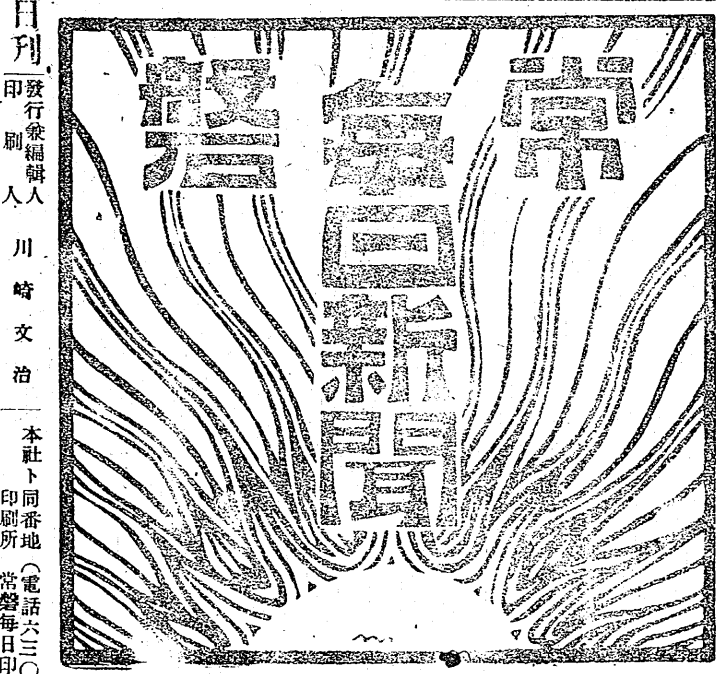
松竹大作映畫
 岩田祐吉、田中絹代主演
 日活連續大映畫
 大河内傳次郎主演
 初篇ヨリ 全部上映
 終篇マデ

大岡政談大會

通普金料
 館平
 電 466

和四年度の豫算は約十五億
 圓に上つて居る、即ち公債
 の總額は經常歳入の三倍八
 割餘に當るので、歐洲戰爭
 前の割合と比較すれば非常
 に少なくなつて居るのである
 更に公債の消化力を量るべ
 き國民の消化力に就て見れ
 ば、會社の拂込資本でも、
 銀行預金でも、郵便貯金で
 も、輸出入貿易の金高でも
 手形交換高でも皆戰前に比
 べて四倍五倍といふ風に非
 常に増加して居る、その中
 一二の例を言へば銀行預金
 は大正三年には二十三億圓
 であつたが、最近には百二
 十億圓を越えて居る、即四
 倍八割程の増加である、郵

便貯金は大正三年には僅に
 二億圓であつたが最近には
 十八億圓にもなつて居る、
 即九倍の増加である、戰前
 の公債の總額二十六億圓は
 銀行預金の總額よりも遙に
 多かつたのであるが、今日
 の公債總額五十八億圓は銀
 行預金の半分にも足りない
 のである、又郵便貯金との
 割合は戰前には公債が十三
 倍であつたが、最近に於て
 は三倍餘にしか當らない、
 此の如くに靜に觀察して見
 れば、戰前に比して公債總
 額の著しく膨脹して居る數
 字だけを見て直ちに悲觀す
 るの要はない。



二十二年十二月廿九日

日刊 發行兼編輯人 川崎文治
 本社 同香地（電話六三〇番）
 印刷所 常盤毎日印刷所

定 部 金 貳 圓 五 十 錢
 一 月 金 貳 圓 五 十 錢
 三 月 金 七 圓 五 十 錢
 六 月 金 一 十 四 圓 五 十 錢
 一 年 金 二 十 八 圓 五 十 錢
 廣 告 費 另 議
 休 刊 日 日 曜 日 祭 日
 福 島 縣 石 城 郡 平 町 長 橋 町 三 五
 番 行 所 常 盤 毎 日 新 聞 社
 電 話 六 三 〇 番

